

鳥取市ボランティア・市民活動センター情報紙

2018. 8

第 180 号

トリボラ通信

ホームページ <http://www.tottoricity-syakyo.or.jp/tvc/>



鳥取市ボランティア・市民活動センターからのお知らせ

7月に生活支援ボランティア研修会 in 気高、ボランティア・NPO 交流サロンとりぼらカフェを開催しました。

生活支援ボランティア研修会 in 気高「とっとり こども食堂」



生活支援ボランティア研修会は、地域課題の中から生まれた先進的な支え合いや元気な取組みをお聞きし、参加者皆で考えていく会です。今回は「こども食堂」をテーマに取り上げました。

まず鳥取市中央人権福祉センターの小出さんから、子どもの貧困についての説明と、こども食堂ができた経緯や現在の運営状況等のお話を伺いました。参加者の中には、気高町でこども食堂を運営されようとしている方もあり、広がりつつあるこども食堂への関心の高さを感じた会となりました。

ボランティア・NPO 交流サロンとりぼらカフェ 「お金～資金調達って何？上手に活用するために～」



今回は、「お金」をテーマに取り上げ、資金調達の種類や方法を学ぶとともに参加団体同士で意見交換を行いました。

とっとり県民活動活性化センターの寺坂さんをゲストにお迎えし、各団体の財源状態を確認しながら、助成金やクラウドファンディング等の資金調達の方法や探し方をご紹介いただきました。

参加団体の皆さんは、互いの財政状況を知る事もでき、終了後も話に花が咲き新たな繋がりができたようでした。

鳥取市のボランティア・市民活動状況【2018年8月1日現在】

鳥取市ボランティア・市民活動センター・登録状況

- ・ イベント・イベント託児ボランティア登録者数：40名
- ・ アクティブとっとり登録団体数：146団体

NPO 法人認証・申請状況

- ・ 認証されている団体：113団体 → 県：288団体（39%）
- ・ 申請している団体：0団体 → 県：1団体



センターからのお知らせ

◆はじめてみませんか？～ボランティア入門講座～

日時：9月 3日（月） 10：30～11：45

9月12日（水） 19：00～20：15 ※事前にお申しください。

9月28日（金） 14：00～15：15

場所：さざんか会館 1階（鳥取市富安二丁目 104-2） 市民活動拠点アクティブとっとり会議室

内容：・ボランティアやNPOに関する基本的な説明 ・ボランティアの始め方や心構え

・活動受け入れ先、活動団体、グループ、NPO法人等の紹介と活動に関する相談など

◆市民活動団体のための助成金相談会

最新の助成金情報から、助成金情報の収集方法、申請方法についてご説明します！

日時：9月21日（金） 1部 13：30～14：15 / 2部 14：15～15：00

9月25日（火） 1部 18：30～19：15 / 2部 19：15～20：00

※相談会は完全予約制です。必ず事前にお申し込みください。

場所：さざんか会館 1階 相談コーナー（鳥取市富安二丁目 104-2）

内容：助成金の探し方、申請の方法等。当センター発行の『助成金情報誌』の説明。

◆NPO なんでも相談会

～団体の立上げ、組織運営、協働事業についてなど NPO に関わるご相談・疑問にお応えします～

日時：9月21日（金） 1部 18：30～19：15 / 2部 19：15～20：00

※相談会は完全予約制です。必ず事前にお申し込みください。

場所：さざんか会館 1階 相談コーナー（鳥取市富安二丁目 104-2）

対象：市民活動を行っている個人・団体、または市民活動に関心がある方

助成金紹介

平成 30 年度トトリズム推進補助金 3 次募集 8 月 27 日（月）～10 月 1 日（月）

問合せ先：鳥取県元気づくり総本部元気づくり推進局参画協働課 電話 0857-26-7248

対象：地域づくりに意欲があり、県内に事務所又は活動拠点を有すること（法人格は問わない）

対象事業：・地域資源を活かしたまちづくりを図る事業 ・伝統・文化の保存や活用を図る事業

・自然環境や景観保全を図る事業 ・安心・安全な地域づくりを図る事業

・福祉・健康づくりを促進する事業 ・地域内、地域間交流・人材育成を促進する事業

金額：スタートアップ型

・スタート支援 上限 10 万円（補助率 10/10）

・継続支援 上限 10 万円（補助率 3/4）

・ステップアップ支援 上限 30 万円（補助率 3/4）

～収集ボランティアのお礼～

●古切手 若葉台地区社会福祉協議会 さま



ご協力ありがとうございました。

活動団体・関係機関からのお知らせ

映画「八重子のハミング」上映会

日時：9月2日（日） ①10：30～ ②14：00～

場所：鳥取市民会館 大ホール

チケット：一般前売 1,000 円（当日 1,300 円）、小中高生前売 500 円（当日 800 円）

主催・問合せ先：鳥取コミュニティシネマ 携帯 080-8907-9293

鳥の演劇祭 11

期間：9月6日（木）～9月23日（日）

場所：鳥の劇場と鹿野町内各所（鳥取市鹿野町）

問合せ先：特定非営利活動法人 鳥の劇場 電話 0857-84-3612

****鳥の演劇祭ボランティアスタッフ募集中****

活動期間：8月1日（水）～9月25日（火）

ご都合の良い時間帯だけでも。長期参加が可能な方大歓迎。

応募資格：中学生以上（中学生については、保護者の承諾が必要）

内容：①広報活動 ②会場準備・受付 ③カフェやテーマハウスの手伝い

応募方法：氏名、年齢、性別、電話番号、メールアドレス・ご希望の活動内容（あればお書きください）を下記連絡先までお知らせください。

問合せ先：「鳥の演劇祭」ボランティアスタッフ問合せ窓口（担当：國石）

電話 0857-84-3268 E-mail：volunteer@birdtheatre.org

山本淳子さんのわらべうた♪

日時：9月15日（土） / 場所：鳥取市立中央図書館多目的ホール

内容：1部 親子でわらべうた遊び（1～3歳の子どもと保護者）10：00～10：30【定員 20組】

2部 親子でわらべうた遊び（0歳の子どもと保護者）11：00～11：30【定員 15組】

3部 「ことばを育むわらべうた」わらべうたの理論と実践（大人向け）

13：30～15：30【定員 50名】

申込・問合せ先：ねえよんでの会〔奥村〕電話/FAX0857-26-5728

鳥取市立中央図書館〔児童担当〕電話 0857-27-5182

鳥取いのちの電話 第25期電話相談員養成講座 受講生募集

期間：2018年10月1日（月）～2020年3月 原則として月曜日 午後6:30～8:30（週1回）

場所：高齢者福祉センター（鳥取市富安二丁目104-1 さざんか会館隣）

受講資格：1995年9月30日までに生まれた方（満23歳以上）で「いのちの電話」の趣旨に賛同し、積極的に参加できる方。所定の申込みをし、受講の決定を受けた方。

申込方法：9月10日（月）までに申込書を郵送ください。（当日消印有効）

募集締切：9月10日（月） ※募集定員30名

受講料：（1）20,000円（講座受講料・一泊研修費・インターン料を含む）

（2）受講料は全額一括払いでお願いします。（開講式当日にご持参ください）

（3）納入された受講料は原則としてお返しできません。

申込・問合せ先：社会福祉法人「鳥取いのちの電話」事務局 電話/FAX 0857-29-6556

月曜日～金曜日 正午～午後4時

第2回 手話サークルたんぽぽ

毎週水曜日 10時から12時まで、市民活動拠点アクティブとっとり会議室で手話の学習やろう者との交流をされています。日中に手話サークルをしているところがないため、会員も現在29人で、毎年増えています。サークルにも毎週20人以上は参加があり、学習会や交流会など週毎に内容を変える工夫をされています。

ある週の学習では、日本赤十字社鳥取県支部から2名の講師を迎え、救急法講習を行いました。「訓練ができない人は、本番でもできない」という講師の指導に、耳が聞こえない方と、聞こえる方が二人一組になり、訓練を行いました。



別の週はお楽しみ交流会で、おやつを食べながら、皆で楽しくティッシュボックスを作られています。



テキストでの学習の週もありますが、毎月第4週目はお楽しみ交流会です。ろう者の方と一緒に料理をしたり、グラウンドゴルフをしたりと学習の内容は、その週の担当者がそれぞれ企画して楽しく学習されています。

次は何をするのかな？と毎週水曜日が楽しみになるような「手話サークルたんぽぽ」の活動でした。

第3回 えねみら・とっとり（エネルギーの未来を考える会）

“えねみらカフェ「8年目の今、原発災害に向き合う～避難・保養・移住～」”に参加してきました。

2011年の東日本大震災の原発事故で、想定外の膨大な放射性物質が拡散したにもかかわらず、被災地からの避難者に対してや、健康不安を抱えながらそこで暮らす人々に対しても、国からの十分な支援が行われているとは言えない状況が続いています。



原発事故を止められなかった大人の責任として、ずっとこの問題について考えていきたいということで、第一部では、原発事故をきっかけに

二人のお子さん連れて、関東から鳥取に移住した橋本悦さんのお話を伺いました。「収束したら帰ろう！でも7年たっても何も収束していない。帰らないのではなく、帰れないんだ」と、放射能の怖さを話されました。最近になり、中学生の頃「東京に原発を！」という広瀬隆さんの本を読んで書いた読書感想文がみつきり、読み返してみると今自分の考えていることはその当時から何一つ変わっていない。やはり原発は恐ろしいと。

また、第二部では、鳥取県内で被災地からの避難者を支援しているとっとり震災支援連絡協議会の方や、災害支援ボランティアグループの方から活動の様子を伺いました。

初めて“えねみらカフェ”に参加させていただきましたが、原発災害がいかに恐ろしいものかと考えさせられ、私自身、本当に良い勉強をさせていただけたと思います。

～編集後記～

一日の平均気温が25度以上を「夏日」、30度以上の日を「真夏日」、35度以上の日を「猛暑日」といいますが、気温が高い日ではなく、激しい暑さを表す「酷暑日」の方が、この連日の暑さを表現するにはわかりやすい気がしますね。8月も半ば、せめて「真夏日」ぐらいの気温になってほしいものです。

まだまだ残暑が厳しいですが、この暑い夏をなんとか乗りきりましょう。(T. Y)

【発行・編集・お問い合わせ先】

鳥取市ボランティア・市民活動センター（鳥取市富安二丁目104-2 さざんか会館1階）

電話：0857-29-2228 FAX：0857-29-2338 Eメール：tvc@tottoricity-syakyo.or.jp

<http://www.tottoricity-syakyo.or.jp/tvc/>